



交通安全情報 No 2

～ めざせ 安全で安心な車社会 北海道 ～

平成19年 1月11日
警察本部 交通部
交通総合対策センター

高速道路を逆走し正面衝突!

～ 道央自動車道で高齢運転者が死亡～

1月10日(水)午後0時47分ころ、上川郡比布町の道央自動車道において、上り車線を逆走していた普通乗用車が巡行の大型貨物車に正面衝突し、普通乗用車を運転していた男性運転者(84歳)1人が死亡し、助手席に同乗していた妻(81歳)が軽傷を負う事故が発生しました。

これまで道内では、高速道路での逆走による交通死亡事故の発生はありませんでした。東日本高速道路(株)北海道支社には、逆走に関する通報が、昨年中で39件寄せられ、平成14年から平成18年までの5年間では319件にもなっているとのこと。

事故概要	
1月10日(水)午後0時47分ころ 比布町 道央自動車道 天候 小雪 路面: 圧雪 普通乗用×大型貨物 A当: 石狩市・84歳・男性 B当: 函館市・37歳・男性 A当死亡	

今年に入り高齢者が死亡する交通事故が多発!

1/3	帯広市	男性(72歳)	運転者
1/6	日高町	女性(76歳)	歩行者
1/10	芦別市	女性(79歳)	歩行者
1/10	比布町	男性(84歳)	運転者

高速道路は指定された方向にしか進めません。SA・PAから出る際には、特に規制標識や行き先の案内標識、道路標示等を確認しましょう。

行き先を間違えたり、行き過ぎてしまっても、次のインターまで行って正しい方向へ走行しましょう。

逆走行為は、第三者を巻き込んだ悲惨な事故につながります。十分注意して走行しましょう。

高齢運転者の事故実態について

～ 高齢運転者から聞き取り調査を実施 ～

昨年、高齢運転者30人から聞き取り調査を実施した結果、8人(26.7%)の方から、「居眠りが原因で事故を起こした」と回答がありました。

運転目的は、8人中7人(87.5%)が冠婚葬祭、レジャー等の特別な用件で、特に墓参、葬儀、長距離の通院等が約6割。

特別な出来事
葬儀、墓参、長距離
通院等

事故現場までの総走行距離は、100km以上が約6割を占め、帰路方向(目的地から自宅等方向)が約7割。

30人中11人(36.7%)が高齢になって運転中に眠気を感じるようになったと訴えていた。

「疲労」や「睡眠不足」により居眠りをしていました。体調管理に、気を付けます。



帰宅方向



居眠り運転防止のために!

日頃から健康管理に配慮し、長距離運転の前日は十分な睡眠・休養を取るようしましょう。無理のない運転計画を立て、特に疲労等を感じなくても1時間に1回は休養をとるようにしましょう。睡魔等に襲われたら直ちに運転を中止し休憩や仮眠をとりましょう。

～ 愛する命、愛する大地を守っていく、北海道警察～